

2025年度
中京大学 教職センター活動報告

2026年9月
教職センター

<報告内容>

はじめに

1. 免許状取得者数	P. 3
2. 教育実習の状況	P. 8
3. 介護等体験の実施状況	P. 10
4. 教員採用試験結果	P. 11
5. 各種教員採用試験支援内容	P. 14
6. 教職センター委員会・教職センター会議等の活動記録	P. 16
7. その他資料	P. 18

はじめに

本年は、教員採用試験や教育実習の前倒し実施が始まり2年目となりました。本年実施の採用試験では中学校教諭の実技試験が廃止されるなど、教員の確保に向けて毎年のように様々な修正や取り組みがなされています。来年度からは、都道府県を越えて教員採用試験の共通問題が作成される予定であり、その準備も進められています。教職課程を履修する学生の皆さんは、社会や状況の変化に柔軟に対応し、各学年ステージごとに意欲的に学びを継続しています。

さて、本報告書3ページに記したように、2025年度の本学の教員免許取得者数は、学部・大学院を合わせて373名（実人数）となり、5年前の219名よりも7割増加しています。昨年も記しましたが、増加の背景には、スポーツ科学部トレーナー学科およびスポーツマネジメント学科が完成年度を迎えたこと、スポーツ教育学科の取得者数がさらに増加し120名を超えたことが大きな要因です。3年次に実施する介護等体験の受講者数から判断すると、年度による多少の増減を伴いながらもこの傾向は継続すると見込まれます。出口となる教員採用試験の合格者数も、2023年度の195名から、2024年度は209名、2025年度は223名と、免許取得者の増加に伴って、順調に増加しています。

本報告書の14ページにおいて、本学が実施している教員採用試験に関する学生支援の具体を示していますが、手厚い教職支援は、本学の特徴の一つです。教職課程の履修者が増える中、今後も教育体制の強化と学生支援の充実に取り組んでまいります。大学にとって教職課程の充実は、企業就職、公務員試験、大学院進学と並ぶ重要な「出口」の一つです。教職センターでは、学生の皆さんが「学び続ける教師」として教育現場でその力を発揮できるよう、今後も支援してまいります。

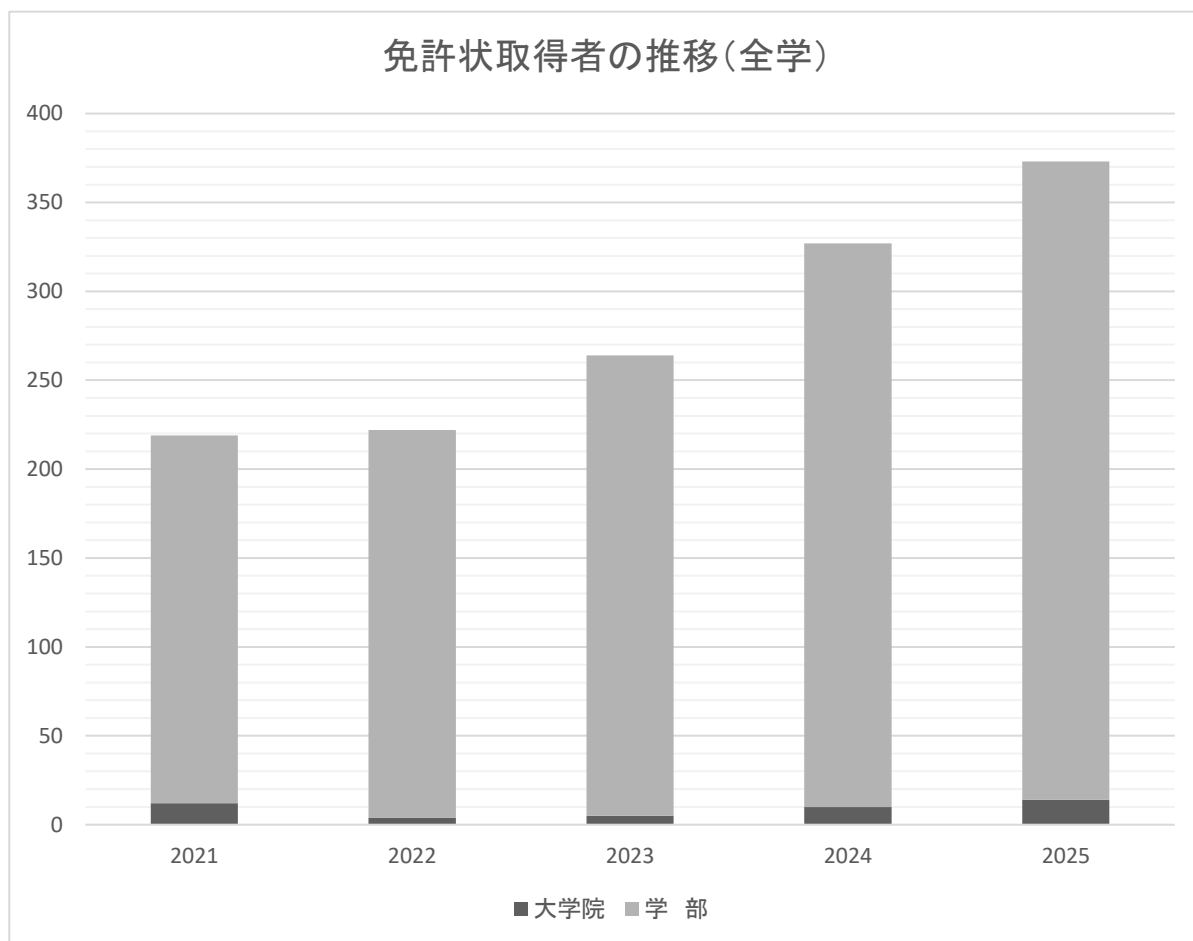
最後に、学生の皆さんが安心して大学生活を送り、教職課程に専念できるよう日々ご支援いただいているご家族の皆様、本学教職課程の運営にご協力を賜っている関係各位に心より御礼申し上げます。

2026年8月11日

教職センター長 久野 弘幸

1. 免許状取得者数

1－1. 免許状取得者の推移



年度	2021	2022	2023	2024	2025
大学院	12	4	5	10	14
学 部	207	218	259	317	359
合 計	219	222	264	327	373

免許状取得者数については、引き続き増加傾向にある。内訳としては、主にスポーツ科学部や、専修免許取得者(大学院生)について増加が続いている。

現状、一般企業の就職内定率が好調であり、教員の労働実態を懸念する「教員離れ」も続いている。教員採用試験についても近年早期受験(3年次、修士1年次に1次試験が受験可能)などが実施され、教員採用試験の動向にも注視していく必要がある。引き続き教師の魅力を伝えつつ、きめ細かな支援を継続していく必要があると考える。

1－2. 免許種類別取得者数

学部

2025年度

免許状の種類	件数	教科別内訳	
		教科	件数
中学校教諭1種免許状	352	国語	26
		社会	44
		保健体育	274
		外国語（英語）	8
高等学校教諭1種免許状	369	国語	27
		地理歴史	27
		公民	23
		書道	6
		保健体育	275
		工業	0
		商業	3
		外国語（英語）	8
計	721		
申請者の人数（実人員）		359名	

※免許申請数をもとに算出

大学院

2025年度

免許状の種類	件数	教科別内訳	
		教科	件数
中学校教諭専修免許状	14	国語	1
		社会	1
		保健体育	10
		外国語（英語）	2
高等学校教諭専修免許状	14	国語	1
		書道	0
		地理歴史	1
		公民	0
		保健体育	10
		外国語（英語）	2
計	28		
申請者の人数（実人員）		14名	

※免許申請数をもとに算出

科目等履修生（）:社会人内数

中学校教諭1種免許状：英語2件（1件）、保健体育7件（3件）
 高等学校教諭1種免許状：英語2件（1件）、保健体育7件（3件）
 中学校教諭専修免許状：
 高等学校教諭専修免許状：

実人員9名（4名）

1－3．学部別免許取得者数の推移

教員免許状取得者数及び件数について（学部）

学部学科	区分	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
文学部 日本文学科	実人数	8	6	15	17	19
	中一種免（国語）	8	5	15	17	19
	高一種免（国語）	8	6	15	17	19
	高一種免（書道）	5	1	2	2	3
文学部 言語表現学科	実人数	3	7	6	5	8
	中一種免（国語）	3	6	4	5	7
	高一種免（国語）	3	7	6	5	8
	高一種免（書道）	0	2	1	1	3
文学部 歴史文化学科	実人数	11	10	13	21	14
	中一種免（社会）	11	10	11	21	14
	高一種免（地歴）	11	10	12	21	14
国際英語学部 国際英語学科 国際英語キャリア専攻	実人数	2	4			
	中一種免（英語）	2	4			
	高一種免（英語）	2	4			
国際英語学部 国際英語学科 英語圏文化専攻	実人数	0	0			
	中一種免（英語）	0	0			
	高一種免（英語）	0	0			
国際英語学部 国際英語学科 国際学専攻	実人数	3	2			
	中一種免（英語）	2	2			
	高一種免（英語）	3	2			
国際学部 言語文化学科 複言語・複文化学専攻	実人数			2	3	2
	中一種免（英語）			2	3	2
	高一種免（英語）			2	3	2
国際学部 言語文化学科 英米学専攻	実人数			8	7	6
	中一種免（英語）			8	7	6
	高一種免（英語）			8	7	6
国際教養学部 国際教養学科	実人数	0	2			
	中一種免（社会）	0	1			
	高一種免（地歴）	0	2			
	高一種免（公民）	0	1			
心理学部 心理学科	実人数	2	3	3	3	0
	中一種免（社会）	2	3	3	3	0
	高一種免（公民）	1	1	2	2	0
現代社会学部 現代社会学科 社会学専攻	実人数	6	8	8	6	8
	中一種免（社会）	6	8	8	4	8
	高一種免（公民）	2	6	7	4	8
現代社会学部 現代社会学科 コミュニティ学専攻	実人数	2	11	4	6	3
	中一種免（社会）	2	11	1	4	3
	高一種免（公民）	1	10	4	6	2

教員免許状取得者数及び件数について（学部）

学部学科	区分	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
法学部 法律学科	実人数	2	3	4	2	3
	中一種免（社会）	2	2	4	2	3
	高一種免（地歴）	2				
	高一種免（公民）	2	3	4	0	1
総合政策学部 総合政策学科	実人数	0	5	4	4	9
	中一種免（社会）	0	4	4	3	8
	高一種免（地歴）	0	4	3	0	4
	高一種免（公民）	0	3	4	1	5
経済学部 経済学科	実人数	4	8	7	9	8
	中一種免（社会）	4	6	4	8	7
	高一種免（地歴）	4	6	6	9	8
	高一種免（公民）	4	5	5	9	7
	高一種免（商業）	2	2	3	0	0
経営学部 経営学科	実人数	4	6	0	4	4
	中一種免（社会）	0	3	0	2	1
	高一種免（地歴）	1	2	0	2	1
	高一種免（公民）	1	2	0	2	0
	高一種免（商業）	3	6	0	2	3
工学部 電気電子工学科	実人数	0	0	2	0	0
	高一種免（工業）	0	0	2	0	0
スポーツ科学部 スポーツ教育学科	実人数	72	76	92	104	126
	中一種免（保健体育）	71	76	92	104	125
	高一種免（保健体育）	72	76	92	104	126
スポーツ科学部 競技スポーツ科学科	実人数	70	59	72	73	81
	中一種免（保健体育）	67	59	71	73	81
	高一種免（保健体育）	70	59	72	73	81
スポーツ科学部 スポーツ健康科学科	実人数	18	8	19	21	35
	中一種免（保健体育）	18	8	19	21	35
	高一種免（保健体育）	18	8	19	21	35
スポーツ科学部 トレーナー学科	実人数				20	17
	中一種免（保健体育）				20	17
	高一種免（保健体育）				20	17
スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科	実人数				12	16
	中一種免（保健体育）				12	16
	高一種免（保健体育）				12	16
免許状取得者数（実人数）		207	218	259	317	359

※法学部 高一種免（地歴）… 2019年度に課程取り下げ

※国際英語学部、国際教養学部 … 2020年度より募集停止

※国際学部 … 2020年度開設

※スポーツ科学部トレーナー学科、スポーツマネジメント学科 … 2021年度開設

教員免許状取得者数及び件数について（大学院）

研究科専攻	区分	2022年度	2023年度	2024年度	2024年度	2025年度
人文社会科学研究科 日本語日本文学専攻 ※2 〔文学研究科 日本文学・日本語 文化専攻 ※1〕	実人数	0	0	1	1 ※1	1 ※2
	中専免（国語）	0	0	1	1	1
	高専免（国語）	0	0	1	1	1
	高専免（書道）	0	0	0	0	0
人文社会科学研究科 言語文化専攻 ※2 〔国際英語学研究科 国際英語学専攻※1〕	実人数	0	0	0	0 ※1	2 ※2
	中専免（英語）	0	0	0	0	2
	高専免（英語）	0	0	0	0	2
人文社会科学研究科 歴史文化専攻 ※2 〔文学研究科 歴史文化専攻 ※1〕	実人数	0	0	2	2 ※1	1 ※2
	中専免（社会）	0	0	2	2	1
	高専免（地歴）	0	0	2	2	1
心理学研究科 実験・応用心理学専攻	実人数	0	0	0	0	0
	高専免（公民）	0	0	0	0	0
心理学研究科 臨床・発達心理学専攻	実人数	0	0	0	0	0
	高専免（公民）	0	0	0	0	0
社会学研究科 社会学専攻 ※1	実人数	0	0	0	0	
	中専免（社会）	0	0	0	0	
	高専免（公民）	0	0	0	0	
法学研究科 法律学専攻 ※1	実人数	0	0	0	0	
	中専免（社会）	0	0	0	0	
	高専免（公民）	0	0	0	0	
経済学研究科 経済学専攻 ※1	実人数	0	0	0	0	
	中専免（社会）	0	0	0	0	
	高専免（公民）	0	0	0	0	
経営学研究科 経営学専攻 ※1	実人数	0	0	0	0	
	高専免（商業）	0	0	0	0	
スポーツ科学研究科 スポーツ科学専攻	実人数	4	5	7	7	10
	中専免（保健体育）	4	5	7	7	10
	高専免（保健体育）	4	5	7	7	10
免許状取得者数（実人数）		4	5	10	10	14

※1… 2024年募集停止

※2…2024年人文社会科学研究科設置

2. 教育実習の状況

2-1. 学部別教育実習者数

年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
実施者数	241名	267名	255名	332名	407名

2025年度

学部	時期	前期（5～7月）	後期（8～12月）	合計人数	備考
日本文学科		19	0	19	
言語表現学科		7	1	8	
歴史文化学科		14	1	15	
言語文化学科 複言語・複文化学専攻		2	0	2	
言語文化学科 英米学専攻		6	2	8	
心理学科		0	0	0	
法律学科		6	0	6	
総合政策学科		9	0	9	
経済学科		6	2	8	
経営学科		4	1	5	
現代社会学科		13	0	13	
電気電子工学科		0	0	0	
スポーツ教育学科		97	46	143	
競技スポーツ科学科		70	25	95	
スポーツ健康科学科		34	5	39	
トレーナー学科		17	3	20	
スポーツマネジメント学科		14	3	17	
総計		318	89	407	

※科目等履修生、小学校および特別支援学校への教育実習数、教職辞退者を除く

2021年度開設のスポーツ科学部トレーナー学科・スポーツマネジメント学科が4年生となったことで、昨年度大幅に教育実施者数が増加する形となった。さらに教職課程履修者は近年増加傾向にあり、それに伴い今年度の教育実習参加者数も大きく増加した。

また、昨年度から教員採用試験の実施時期の早期化に伴い教育実習の実施時期が早まっている。今後も自治体ごとの教員採用試験実施日に注意しながら、学生の混乱を招かないよう、慎重に情報提供を行うよう努める。

2－2．都道府県別・校種別教育実習者数

2025年度

都道府県	教育実習者数
愛知	235
三重	22
岐阜	21
静岡	25
北海道	1
青森県	1
岩手県	0
宮城県	1
秋田県	1
山形県	0
福島県	0
茨城県	2
栃木県	0
群馬県	1
埼玉県	4
千葉県	2
東京都	0
神奈川県	1
新潟県	3
富山県	6
石川県	6
福井県	5
山梨県	1
長野県	9
滋賀県	2
京都府	1
大阪府	5
兵庫県	16
奈良県	2
和歌山県	3
鳥取県	2
島根県	1
岡山県	1
広島県	7
山口県	2
徳島県	1
香川県	4
愛媛県	2
高知県	1
福岡県	2

都道府県	教育実習者数
佐賀県	1
長崎県	0
熊本県	1
大分県	2
宮崎県	1
鹿児島県	1
沖縄県	2
総計	407

2025年度

校種	教育実習者数
中学校	195
中学・高等学校	4
高等学校	208
総計	407

3. 介護等体験の実施状況

3-1. 介護等体験(社会福祉施設)実施者数

年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
実施者	265名※	283名※	373名※	417名	400名

※2021年度～2023年度実施者数は代替措置を行い、認定を受けた学生数

2021年度～2023年度までは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、介護等体験を文部科学省が特例的に定めた代替措置にて現地体験の替わりとしたが、2024年度より体験施設での実地体験が再開されている。実施施設数としては愛知県内の42施設にて5日間の介護等体験を実施した。

3-2. 介護等体験(特別支援学校)実施者数

年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
実施者	265名※	283名※	373名※	412名	393名

※2021年度～2023年度実施者数は代替措置を行い、認定を受けた学生数

社会福祉施設と同様に、2024年度より特別支援学校での実地体験が再開されている。実施学校数としては、愛知県内の16校の特別支援学校にて2日間の介護等体験を実施した。

4. 教員採用試験結果
4-1. 教員採用試験結果（県別）

2025年度 現役		【2025年10月10日現在】																													
都道府県市	小学 校	中高						中学校						高等学校										特別支援			養護	学教	不明	合計	2024 年度
		国語	英語	保体	社会	数学	不明	国語	英語	社会	数学	保体	不明	国語	英語	地歴	公民	福祉	数学	情報	商業	工業	保体	不明	初	小					
北海道																													0	0	
札幌市																													0	0	
青森県																													0	0	
岩手県																													0	0	
宮城県 仙台市																													0	0	
秋田県																													0	0	
山形県																													0	0	
福島県																													0	0	
茨城県																													0	5	
栃木県																													0	0	
群馬県																													0	0	
埼玉県																													0	0	
さいたま市																													0	0	
千葉県 千葉市				1																									1	0	
東京都	1							2				1																	4	2	
神奈川県																													0	0	
横浜市	2																												2	4	
川崎市					1																								1	0	
相模原市																													0	0	
新潟県						1																							1	0	
新潟市																													0	0	
富山県			1			1					1																		3	1	
石川県																													0	0	
福井県																1													1	1	
山梨県																											1		1	0	
長野県																											1		3	1	
静岡県	3								1							1													4	7	
静岡市																													0	0	
浜松市	1																												1	2	
愛知県	18							12	1	6		5		2		2							3				4		53	40	
名古屋市	1	1						3	1																				6	10	
岐阜県								1							1														2	6	
三重県									1												2								3	4	
滋賀県															1														1	1	
京都府																													0	0	
京都市												1																	1	0	
大阪府																													0	0	
大阪市																													0	1	
大阪府豊能地区																													0	0	
堺市																													0	0	
兵庫県																													0	0	
神戸市																													0	0	
奈良県																													0	0	
和歌山県																													0	0	
鳥取県																											1		1	0	
島根県																													0	0	
岡山県 岡山市																													0	0	
広島県 広島市	1															1													2	2	
山口県																													0	0	
徳島県																													0	0	
香川県																													0	0	
愛媛県																													0	0	
高知県																													0	0	
福岡県	1																												1	0	
福岡市												1																	1	0	
北九州市																													0	0	
佐賀県																													0	0	
長崎県																															

2025年度 既卒者

※都道府県市教育委員会及び個人の報告等により確認できた教職支援係集計です。

合計欄「－」は不明

【2026年1月27日現在】

都道府県市	小学 校	中高						中学校						高等学校										特別支援			養護	栄教	不明	合計	2024 年度	
		国語	英語	保体	社会	数学	不明	国語	英語	社会	数学	保体	不明	国語 (含書)	英語	地歴	公民	福祉	数学	情報	商業	工業	保体	不明	幼	小						中高
北海道												2															1			3	1	
札幌市		1																												1	0	
青森県																														0	0	
岩手県																														0	0	
宮城県・仙台市																														0	0	
秋田県																														0	0	
山形県																														0	0	
福島県																														0	0	
茨城県												1																		1	0	
栃木県																							1							1	0	
群馬県																											1			1	0	
埼玉県																														0	1	
さいたま市																														0	0	
千葉県・千葉市	1																													1	－	
東京都		1																												1	3	
横浜市																											1			1	1	
川崎市						1																								1	0	
神奈川県																1														1	1	
相模原市																														0	0	
新潟県										1																				1	0	
新潟市																														0	0	
富山県							1																							3	1	
石川県																											2			－	－	
福井県					1																									1	0	
山梨県																														0	0	
長野県										1		1											1							3	2	
岐阜県	3									1		1	2			2		1			1						1			13	8	
静岡県																							1				2			3	2	
静岡市																														0	0	
浜松市										1																				1	0	
愛知県	8												26											10			4			48	65	
名古屋市	4											5												4			2			15	8	
三重県	1									4		2			1	1				1		1				1	2			12	6	
滋賀県																					1									0	2	
京都府												1															1			2	0	
京都市																														0	0	
大阪府	1												1																	2	1	
大阪市												1																		1	0	
大阪府豊能地区																														0	0	
堺市																														0	0	
兵庫県																							1							1	3	
神戸市	1																													1	1	
奈良県																														0	1	
和歌山県					1																									1	1	
鳥取県																														0	1	
島根県																														0	1	
岡山県・岡山市																														0	0	
広島県・広島市												1																		1	1	
山口県																							1							1	1	
徳島県																							2							2	0	
香川県																											1			1	0	
愛媛県																														0	0	
高知県																1														1	1	
福岡県																											1			1	3	
福岡市																														－	－	
北九州市																														0	1	
佐賀県																														0	1	
長崎県																														0	1	
熊本県	1																										1			2	0	
熊本市																														0	0	
大分県																														0	1	
宮崎県																														0	1	
鹿児島県												1																		1	1	
沖縄県																														0	0	
合計	20	2	0	2	1	0	1	1	1	7	1	12	32	2	1	4	0	0	0	0	2	0	8	14	0	1	18	0	0	0	130	122
2024年度	26	1	0	1	0	0	2	0	0	3	0	8	28	0	1	0	0	0	0	0	0	1	7	24	0	0	20	0	0	0	122	

4-2. 教員採用試験結果(校種別)

年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
全合格者数	209 名	190 名	195 名	209 名	223 名
中学校	79 名	72 名	72 名	67 名	92 名
高等学校	35 名	22 名	36 名	44 名	45 名
中学校・高等学校	3 名	9 名	8 名	8 名	12 名
小学校	72 名	61 名	55 名	66 名	48 名
特別支援学校	20 名	26 名	24 名	24 名	26 名
その他(養教・校種不明)	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名

現役・既卒者を合計し、毎年約200名の合格者を輩出しており、その合格自治体は東海圏以外にも、関東・関西圏も含めて全国に渡っている。2024年度に引き続き合格者数が200名を超える結果となった。

また、2024年度より早期受験(3年次、修士1年次に1次試験が受験可能)が多くの自治体で実施され、1次試験に合格していた学生が2025年度に2次試験を受けることとなり、結果として多くの学生が合格していた。筆記試験を3年次に合格していたことで2次試験対策に多くの時間を費やすことができた結果と考える。早期受験も始まったばかりのため、今後も引き続き合格者のデータを分析していく。

4-3. 教員採用試験結果(現役学部別)

																				()実数			
2025年度	文			心理	法	経済	経営	工	国際英語			国際		総合政策	国際教養	現代社会	スポーツ科					※5 大学院	合計
	日本文	言語表現	歴史文化	心理	法律	経済	経営	電気電子工	国際英語 キャリア	英語圏文化	国際学専攻	複言語・ 複文化学	英米学	総合政策	国際教養	現代社会	スポーツ 教育	競技 スポーツ 科	スポーツ 健康科	トレーナー学	スポーツ マネジメント 学		
高校	2		2				2					2	1				2		1			2(1)	14(13)
中学	15(12)	4	3			1						1	1			2	6(5)					4(3)	37(32)
中・高	2											1					3					1	7
小学校					1											1	24(18)		2				28(22)
小・中																							
特別支援																	6(4)	1					7(5)
合計	19(15)*1	4	5		1	1	2					4(3)*2	2			3	41(31)*3	1	3			7(4)*4	93(75)
名古屋/豊田	38(33)															48(38)					7(4)		

※1 1名の学生が「高校」と「中・高」重複して合格しているため、合計の実数が15名となる ※2 1名の学生が「高校」と「中・高」重複して合格しているため、合計の実数が3名となる

※3 1名の学生が「中学校」と「中・高」重複して合格しているため、合計の実数が31名となる ※4 1名の学生が「高校」と「中・高」重複して合格しているため、合計の実数が4名となる

※5 大学院 人文社会科学研究科(日文1名※4、言語2名) スポーツ科学研究科1名

																			() 人数				
2024年度	文			心理	法	経済	経営	工	国際英語			国際		総合政策	国際教養	現代社会	スポーツ科					大学院	合計
	日本文	言語表現	歴史文化	心理	法律	経済	経営	電気電子工	国際英語 キャリア	英語圏文化	国際学専攻	複言語・ 複文化学	英米学	総合政策	国際教養	現代社会	スポーツ 教育	競技 スポーツ 科	スポーツ 健康科	トレーナー学	スポーツ マネジメン ト学		
高校	5(4)						2					1					3						11(10)
中学	6(5)	5	6(5)										1	1		2	7(5)	2					28(24)
中・高	2(1)		1														1						4(3)
小学校			2(1)									1					34(23)		2			1	40(28)
小・中																							
特別支援				1													1	2					4
合計	13(9)*	5	9(7)	1			2					2	1	1		2	46(33)	4	2			1	87(68)
名古屋/豊田	34(28)															52(39)					1		

* 1名の学生が「高校」と「中・高」重複して合格しているため、合計の実数が9となる

※ 大学院 スポーツ科学研究科1名

																	スポーツ科					大学院	合計					
																	スポーツ教育	競技スポーツ科	スポーツ健康科	トレーナー学	スポーツマネジメント学							
2023年度	文			心理	法	経済	経営	工	国際英語			国際		総合政策	国際教養	現代社会	スポーツ科					大学院	合計					
	日本語	言語表現	歴史文化	心理	法律	経済	経営	電気電子工	国際英語キャリア	英語圏文化	国際学専攻	複言語・複文化学	英米学	総合政策	国際教養	現代社会	スポーツ教育	競技スポーツ科	スポーツ健康科	トレーナー学	スポーツマネジメント学							
	高校	4(2)	1	1									1				2								9(7)			
	中学	8(7)		4(3)	1	1							3	1		2	5		2						27(25)			
	中・高		2														1								3			
	小学校																21(17)								21(17)			
	小・中																											
	特別支援																	3(2)	1							4(3)		
合計	12(9)	3	5(4)	1	1								4	1		2	32(27)	1	2				64(55)					
名古屋/豊田																	27(23)					37(32)						

																				()実数	
2022年度	2	5(3)	2	1			1		6(4)		1				8(5)	32(22)	2(1)			1	61(43)
名古屋/豊田	18(14)															42(28)				1	

※ 大学院 スポーツ科学研究科1名

																				()実数			
2021年度	8(6)	1	4(2)						1	1	1					3(2)	43(28)	4	1				67(47)
名古屋/豊田	16(12)															51(35)							

傾向としては、文学部(教科:国語)が最多であり、スポーツ科学部(教科:保健体育)も例年通り安定して合格者が出ている。校種で見ると、小学校(本学では通信教育連携プログラム(玉川大学)により小2種免が取得できる)が昨年と比べ減少しているが、中学校・高等学校とも合格者が増加しているため、全体の合格者数は昨年に比べ増加する結果となった。

5. 各種教員採用試験支援内容

教員採用試験対策として、筆記試験および人物評価試験の対策を行っている。教職センターでは、本学を卒業された学校教員（校長職）経験者を指導官として招き、個別での相談形式、グループでの教員採用試験対策等の指導を行なっている。また教員採用試験を合格させるだけの指導にとどまらず、教員となったときに第一線で活躍することができる人材を育成することに力を入れ、実際の学校現場での課題や児童・生徒との接し方などをはじめ、様々な支援や指導を行っている。

近年の教員採用試験の試験時期の早期化に伴い、あらゆる支援の実施時期の見直しを行っている。また早期受験（3年次、修士1年次に1次試験が受験可能）も各自治体で本格的に始まり、あらゆる支援の対象学年を広げて早期受験を目指す学生に向けた学習会や小論文添削も実施した。実際に本学の多くの学生が早期受験をしているため、来年度以降も教員採用試験受験に向けたサポートプログラムを低年次から積極的に参加してもらえよう、学生への促進等を引き続き実施していく。

（1）グループ学習会・教職支援学習会（基礎編、現場編）

各学習会は、教員採用試験の過去問題に取り組む筆記試験対策、人物評価試験対策を中心として、授業の空き時間に複数の学生が集まって学んでいる。指導者として学校教員経験者が入り、学習状況に応じてアドバイス等を行っている。教員の資質にかかわる学びも行いながら、人物評価試験の枠を超えた支援も行っている。

3年生春学期教職支援学習会（基礎編）では「いじめ」「不登校」など教育現場の課題に触れながらディスカッションを行う。3年生秋学期、4年生春学期までのグループ学習会では人物評価試験対策を中心に、学部・学部の垣根を超え、学生同士で切磋琢磨しながら学びあう場となっている。4年生秋学期の教職支援学習会（現場編）では、教壇に立つ上で必要な指導を行う。学級担任としての事務、評価と評定について、授業経営について等、ロールプレイング方式による実践的な指導を行なうことで、現場で即戦力となる人材の育成を目指している。

（2）個別サポート（小論文添削・面接練習）

低学年から体系的に行われるセミナーで小論文の基礎的な書き方を学び、実際に自身で書き上げた願書等の自己PR文や小論文過去問題、さらに提示した予想問題に対して書き上げてきた文章を1対1の個別形式で指導している。個人に合わせたきめ細かい指導を行い、合格できる小論文の書き方を身につけさせる。

また、面接練習にも対応しており、例えば、集団で行う学習会の中では対応しづらい個人の志望自治体に特化した内容も1対1であることで対応が可能になっている。個別サポートは年間を通して随時実施されており、対象学年の設定は設けておらず、希望する学生に対し低年次から実施している。

さらに、進路相談の場としても機能しており、教員を目指す上での不安や、教員採用試験の受験自治体・校種について、講師登録についてなどの相談も受け付けている。

（3）面接対策学習会・集中学習会

教員採用試験二次試験（人物評価試験）対策として、個人面接・集団面接・集団討論・場面指導・模擬授業等の指導を行なっている。長期休暇や教員採用試験直前に短期集中で開催され、グループ学習会で学んだ知識を実践する機会となっている。

人物評価試験は一人では対策が難しいため、教員経験があり、教員採用試験の試験官も経験している指導者から効率よく学ぶことができるというメリットがある。

また、数名のグループで行うため、他の参加者の受け答えを聞くことで、自分とは異なる教育観等に触れ、新たな知見を得ることもつながっている。名古屋・豊田両キャンパスのどちらにも参加できる期間も設けているため、普段とは異なる指導者の指導を受けることもでき、学部を超えてともに教職を目指す学生同士で交流ができる場となっている。

（４）卒業生による特別学習会・合格者研修会

教員採用試験二次試験の日程に合わせて７月初旬に、名古屋市教員採用試験対策や、愛知県を中心としたその他自治体向け教員採用試験対策として本学の卒業生となる現役教員を講師としてお招きし、人物評価試験を中心に指導を行っている。これには在学生だけでなく卒業生も参加することができる。本番を意識した緊張感のある中で行われ、講評はかなり厳しいが、試験本番前に新たな気づきを得たり弱点を見直すことにもつながり、より完成度の高い仕上がりとなって本番を迎えることができている。

また、３月には名古屋市と愛知県を中心に教員採用試験に合格をし、教員になる学生に対して、卒業生の現役教員による合格者研修会を行っている。この研修会では、教員としての心構えを再度確認するとともに、同期や同窓生との縁をつなぎ、４月から教員になるにあたり少しでも不安を除き、教員として社会に送り出すことができた。

（５）教員採用試験合格者報告会

教員採用試験合格者による体験談報告会を各キャンパスごとに行う。内容は大きく二つあり、一つは本番形式で行う面接試験の実演で、参加した２・３年生からは、試験に合格している先輩が実際にどのように受け答えをしているか知ることができる機会であると好評を得ている。もう一つは合格者より試験勉強方法や取り組み方、モチベーションの維持、部活動との両立など実体験を報告してもらい、個別面談も通して次年度教員採用試験を受ける学生にアドバイスを行っている。専門教科の勉強方法などとても参考となったという後輩の感想も例年多い。また複数の自治体への受験方法など受験テクニックに関するアドバイスもあり、これまで意識していなかった受験自治体や受験勉強方法を知る機会となっている。

（６）教員採用試験対策講座

小論文を除いた筆記試験対策として、専門業者による、教職教養、一般教養の対策講座を実施。２年生の９月に一般教養を集中講義として行っているが、近年の教員採用試験の早期化を受け、希望者は教職課程を履修する前の１年生から受講可能としている。さらに秋学期より先ずは教職教養の基礎講座がスタートする。３年生では年間を通してより深く学び、４年生で過去問題を中心とした対策を行っている。また、長期休暇後等に計画的な模擬試験を実施しており、学生自身の学習進捗やその成果を図ることができるように工夫している。

（７）その他

学校ボランティアの紹介、教育機関や学校との連携事業等を紹介するセミナーは低年次より行い、進路選択として教職に就く意思の決定や学校現場経験を積めるよう早期から支援を行っている。セミナーでは教員として勤務して数年になる卒業生をお呼びし、「早くから取り組むとよいこと」などについてお話ししてもらうなど、同窓生とのつながりを強化する取り組みも行っている。また、進路相談等、個別の対応も随時行っているほか、惜しくも教員採用試験に合格できなかった学生に対して、講師希望者説明会を開催し卒業後における教員への道筋を説明している。

学部においても教職に関する研究会、教育実習報告会や履修相談会など、教職課程を履修している学生が学年問わず情報を交換できる場を用意している。

6. 教職センター委員会・教職センター会議等の活動記録

(1) 教職センター委員会

回	日時/場所	議題
1	2025年 4月23日(水) オンライン会議	・教職センター委員について ・2025年度 全学委員会 点検・評価報告書について ・教職課程自己点検・評価報告書について ・全学委員会の取組・活動に関連する方針について(報告書) ・履修登録制限単位を超え履修している学生への支援について ・2024年度教員免許状取得者数及び件数について ・2024年度教育委員会連携授業について ・2025年度教育実習および介護等体験の参加予定者数等について ・通信プログラム受講者・終了者数について ・教育実習・介護等体験 欠席届について ・教育実習期間におけるご協力のお願い ・2025年度教育実習巡回指導(旅費交通費精算関係)について ・主な教職関係ガイダンス等について ・中京大学教師教育論叢について(依頼) ・教職履修カルテの確認について(依頼) ・第18回愛知教員養成コンソーシアム連絡協議会について 等
2	2025年 11月19日(水) オンライン会議	・2026年度教職センター委員会開催日程(案)について ・2025年度 教職課程自己点検・評価について ・教育実習記録の変更について ・2024年度 教職課程自己点検・評価完了証について ・教職課程履修者救命講習会 ・教職課程FD・SDセミナー ・2024年度教職センター活動報告(公開)について ・2024年度教員就職状況について ・2025年度教員採用試験結果報告について ・2025年度教職関係行事について ・高校生とともに教師の魅力を考えるフェスタ2025 ・こども性暴力防止法について ・中京大学教師教育論叢について 等
3	2026年 2月25日(水) オンライン会議	・2026年度教育委員会との連携内容について(依頼) ・こども性暴力防止法に基づく措置について ・2025年度全学委員会点検・評価報告書について ・2025年度教職課程自己点検・評価シート(全学用) ・2025年度教員採用試験結果報告について ・教職課程履修者救命講習会について ・教職課程FD・SDセミナーについて ・愛知県・名古屋市の教員採用試験について ・2026年度教職支援内容について ・主な教職関係ガイダンス等の日程について 等

(2)教職センター会議

回	日時/場所	議題
1	2025年 4月9日(水) オンライン会議	・教職センター員について ・2025年度 全学委員会 点検・評価報告書について ・教職課程自己点検・評価報告書について ・「中京大学教師教育論叢」の刊行に関して ・履修登録制限単位を超え履修している学生への支援について ・2024年度教員免許状取得者数及び件数について ・2024年度教育委員会連携授業実績について ・2025年度教育実習および介護等体験の参加予定者数等について ・通信プログラム受講者・終了者数について ・欠席届(教育実習・介護等体験)について ・教育実習期間におけるご協力をお願い ・2025年度教育実習巡回指導(旅費交通費精算関係)について ・主な教職関係ガイダンス等について ・教職履修カルテの確認について ・第18回愛知教員養成コンソーシアム連絡協議会 等
2	2025年 7月23日(水) オンライン会議	・教育実習記録の愛知県統一フォーマットについて ・大学院生が出席した場合の学校推薦学内選抜の原則について ・教員養成の高度化に関する覚書について ・令和 6年度教職課程認定大学等実地視察について ・教職課程自己点検・評価報告書について ・教職課程の課題について ・カリキュラム変更に伴う理念等の確認・修正について ・愛知教育大学教職大学院特別選抜9月試験応募者 ・2025年度教育委員会連携授業について ・令和7年度愛知教育大学 未来共創シンポジウムについて ・教員採用試験特別学習会について 等
3	2025年 11月5日(水) オンライン会議	・2026年度教職センター委員会・センター会議開催日程(案)について ・2025年度 教職課程自己点検・評価について ・教育実習記録の変更について ・2024年度 教職課程自己点検・評価完了証について ・教職課程履修者救命講習会 ・教職課程FD・SDセミナー ・2024年度教員就職状況について ・2024年度教職センター活動報告(公開)について ・2025年度教員採用試験結果報告について ・2025年度教職関係行事について ・高校生とともに教師の魅力を考えるフェスタ2025 等
4	2026年 2月10日(火) オンライン会議	・2026年度教育委員会との連携内容について(依頼) ・こども性暴力防止法に基づく措置について ・2025年度全学委員会点検・評価報告書について ・2025年度教職課程自己点検・評価シート(全学用) ・2025年度教員採用試験結果報告について ・教職課程履修者救命講習会について ・教職課程FD・SDセミナーについて ・愛知県・名古屋市の教員採用試験について ・2026年度教職支援内容について ・主な教職関係ガイダンス等の日程について 等

中京大学から教育現場へご提供できるコンテンツ一覧（2025年度版）

受講対象		分野	内 容	学部	担当教員	実施可能時期
児童・生徒	小学校（低学年）	体育系	多様な運動体験教室　《 名古屋土曜学習プログラム　10月実施 》	スポーツ科学部	教授 中野貴博	応相談
	小学生向け	体育系	なわとび体験学習　　《 名古屋土曜学習プログラム　10月実施 》	スポーツ科学部	教授 野田智洋 （体操競技部部長）	応相談
	小学生向け	体育系	作って遊ぼう!投運動　　《 名古屋土曜学習プログラム　2月実施 》	スポーツ科学部	助教 加納裕久	応相談
	小学校（高学年）	心理系	こころのバリアってなんだろう？—じぶんの気持ちをまもるヒミツ—　（被害を防ぐ、バウンダリー教育）	心理学部	教授 神谷栄治	応相談
	小学校（高学年）	心理系	自分の「いいところ」のを見つけ方　～こころの調子を良くしよう～	心理学部	准教授 浜田恵	応相談
	小学生・中学生向け	体育系	体育実技指導【ラグビー】	スポーツ科学部	教授 中本光彦 （ラグビー部部長・監督）	応相談
	小学生・中学生向け	体育系	体育実技指導【水泳】	スポーツ科学部	准教授 草薙健太 （水泳部監督）	応相談
	小学生・中学生向け	体育系	体育実技指導【ハンドボール】	スポーツ科学部	准教授 船木浩斗 （男女ハンドボール部監督）	応相談
	小学生・中学生向け	体育系	体育実技指導【サッカー】	スポーツ科学部	教授 大家利之 （女子サッカー部監督）	応相談
	小学生・中学生向け	体育系	体育実技指導【ソフトボール】	スポーツ科学部	准教授 二瓶雄樹 （ソフトボール部部長・女子部監督）	応相談
	小学生・中学生向け	体育系	体育実技指導【柔道】	スポーツ科学部	准教授 三宅恵介 （柔道部部長・監督）	応相談
	小学生・中学生向け	体育系	体育実技指導【バスケットボール】	スポーツ科学部	教授 松藤貴秋 （バスケットボール部部長・監督）	応相談
	小学生・中学生向け	体育系	体育実技指導【ダンス】	スポーツ科学部	准教授 和光理奈	応相談
	小学校高学年、中学生向け	人文系	多文化共生社会と多文化教育について考える	教養教育研究院	准教授 アルファロ・フランシスコ	2月
	小学校高学年、中学生向け	教育系	友達とのつき合い方（いじめ、アサーション、相談援助などの観点から講演する）	教養教育研究院	准教授 小川翔大	応相談
	小学校高学年、中学生向け	心理系	感じることの不思議　錯覚を体験してみよう	心理学部	教授 大塚由美子	応相談
	小学生高学年、中学、高校生向け	人文系	日本漫画・アニメの外国語翻訳版を楽しもう（人気作品の英語翻訳版を題材に、外国語を学ぶ楽しさを体験させる。 なお、児童生徒の学習段階に合わせた教材を準備する）	国際学部	教授 明木茂夫	応相談
	中学生・高校生向け	社会系	契約の基礎知識、消費者保護のしくみ	法学部	教授 杉島由美子	応相談
	中学生・高校生,教員・保護者向け	心理系	産業応用の心理学	心理学部	教授 宮崎由樹	応相談
教員・保護者	教育委員会（教員）向け	保健系	熱中症予防について	スポーツ科学部	教授 松本孝朗	応相談
	教員・保護者・高校生向け	人文系	判断力の教育方法（原発の是非に関する総合的判断力教育、ワクチン接種の是非判断のためのリスク教育）	教養教育研究院	教授 楠美順理	応相談
	教員・保護者向け	人文系	日本で暮らすムスリムについて知る講座　（イスラームの基本から学校での支援のあり方について解説します）	教養教育研究院	准教授 千田沙也加	応相談
	教員・保護者向け	人文系	体罰予防・防止に向けた研修（体罰の発生メカニズムや子どもの発達に与える影響について、心理学的観点から解説します）	教養教育研究院	准教授 小川翔大	応相談
	教員・保護者向け	社会系	(1)生命倫理（バイオエシックス）と法（「いのちの教育」など）　(2)障害児・者の福祉と法律	法学部	教授 保条成宏	応相談
	教員向け	人文系	地図帳中国地名カタカナ表記の研究 （教科書や地図帳の中国地名はなぜ中国語読みカタカナとなっているのか、授業や受験指導ではどう扱えばよいのかなどについて考	国際学部	教授 明木茂夫	応相談
	教員向け	人文系	外国にルーツをもつ子どもの教育課題とその支援	教養教育研究院	教授 三浦綾希子	応相談
	教員向け	教育系	若手教員の育ちを支える授業研究の進め方	教養教育研究院	教授 久野弘幸	応相談
	教員向け	社会系	契約の基礎知識、消費者法の基礎知識	法学部	教授 杉島由美子	応相談

●上記はそれぞれ40分～90分の講演時間、受講人数10人～1クラス程度を想定していますが、ご相談いただければ可能な範囲で調整させていただきます。

中京大学の学生へご講演いただきたい内容一覧（2025年度版）

開講学部	授業科目名 〈科目担当〉	実施時期	希望講演内容
スポーツ科	体育科教育法Ⅱ 〈空子耕一〉	10～12月	●保健体育教員としての資質能力の向上についての講演「学校現場を知る」
教養教育研究院	教職実践演習（中・高） 〈教職グループ〉	12月土曜日	●教師への入り口という位置づけの講演（八事キャンパス） 「教師の魅力、学校現場から見える子どもや社会の状況、学校現場の取り組みについて」（1時間程度）
教養教育研究院	教職実践演習（中・高） 〈教職グループ〉	12月土曜日	●教師への入り口という位置づけの講演（豊田キャンパス） 「教師の魅力、学校現場から見える子どもや社会の状況、学校現場の取り組みについて」（1時間程度）

2025年度 名古屋市・豊田市教育委員会連携授業実績

中京大学から教育委員会に提供

	委員会名	学校名	対象	内容	日程	学部	担当	備考
1	名古屋市教育委員会	名古屋市立岩塚小学校	小学生	なわとび体験学習	2025年10月4日	スポーツ科学部	野田先生	土曜学習 プログラム
2	名古屋市教育委員会	名古屋市立堀田小学校	小学生	多様な運動体験教室	2025年10月18日	スポーツ科学部	中野先生	土曜学習 プログラム
3	名古屋市教育委員会	名古屋市立八事小学校	小学生	作って遊ぼう！投運動	2026年2月28日	スポーツ科学部	加納先生	土曜学習 プログラム
4	名古屋市教育委員会	名古屋市立森山中学校	中学生 1 年	日本漫画・アニメの外国語翻訳版を楽しもう	2025年12月16日	国際学部	明木先生	80分
5	名古屋市教育委員会	名古屋市立大手小学校	小学生 5 年	体育実技指導（バスケットボール）	2026年1月19日	スポーツ科学部	松藤先生	2 限
6	名古屋市教育委員会	名古屋市立大森小学校	小学生 3 年	体育実技指導（ダンス）	2025年9月9日	スポーツ科学部	和光先生	
7	名古屋市教育委員会	名古屋市立西城小学校	小学生 3 年	体育実技指導（ダンス）	2026年2月4日	スポーツ科学部	和光先生	2 限
8	名古屋市教育委員会	名古屋市立川原小学校分校	小学生	体育実技指導（ダンス）	2026年2月17日	スポーツ科学部	和光先生	
9	名古屋市教育委員会	名古屋市立大手小学校	小学生 6 年	体育実技指導（サッカー）	2026年3月4日	スポーツ科学部	大家先生	2 限
10	豊田市教育委員会	豊田市立西保見小学校	小学生 3 年	多様な運動体験教室	2025年11月13日	スポーツ科学部	中野先生	
11	豊田市教育委員会	豊田市立西保見小学校	小学生 3 年	体育実技指導（サッカー）	2025年11月20日	スポーツ科学部	大家先生	
12	豊田市教育委員会	豊田市立加納小学校	小学生 5 ・ 6 年	なわとび体験学習	2025年12月11日	スポーツ科学部	野田先生	2 限
13	豊田市教育委員会	豊田市立堤小学校	小学生 1 年	なわとび体験学習	2026年1月15日	スポーツ科学部	野田先生	
14	豊田市教育委員会	豊田市立堤小学校	小学生 2 年	作って遊ぼう！投運動	2026年2月25日	スポーツ科学部	加納先生	2 限

限：コマ数

教育委員会から中京大学に提供

	委員会名	講演者	内容	対象	日程	学部	備考
1	名古屋市教育委員会	高橋 幸久 氏	教職実践演習 講演会	名古屋キャンパス教職履修者4年生	2025年12月6日	教養教育研究院	対面形式
2	豊田市教育委員会	三宅 薫 氏	教職実践演習 講演会	豊田キャンパス教職履修者4年生	2025年12月20日	教養教育研究院	対面形式